

模な企業においても事業の縮小轉換を餘儀なくし之に基く轉失業者は可成りの數に上つてゐる。事變以來政廳の轉失業者對策は巨額の國費と多角的施設を通じて全國に一應の努力を致したことは多とするが今日重ねて之を問題とせざるを得ないのは、客觀的事態の深刻化、從來施設の微温的で且つ多くの缺陷ありしたためもあるが一層重大な原因として指摘したいのは政府從來の方針が統制萬能主義に隨し、統制によつて行ざる、窮極の利害得失を嚴密且慎重に較量しなかつたといふ點である。低物價政策も行過ぎれば生産力の萎縮を來し、配給統制も過度に強行し極端に中間配給業者を淘汰すれば價格の引下げは可能でも弱小事業者の破産失業といふ一層憂慮すべき事態おこり、配給を澁滞せしめ、實質的には物價騰貴の場合と何等異らざる物資缺乏を招く。低物價政策にせよ配給統制にせよ眞の効果を確保し得る程度範圍には自ら限度があると同時にこの限界をどこにおくかを見極めなければその結果であり副産物たる轉失業問題に對する政府の視野が定まらないと共に、轉失業對策の對象となる業者側にしても徒らに暗中摸索を續けねばならぬであらう。此意味において、政府が轉失業問題の根源をつきとめ之に對する政府の方針と見通しを一般業者に諒解せしめることが先決要件である。

△其他(略)、「翼賛運動愈々發足」(國民)、「大政翼賛會、二重の責任 翼賛會と議會、國民の周知、吾等の憂慮」(都)

141  
1 (10月14日)

本日の新聞論調 (第六百四十二號) 内閣情報部 五〇・三(月) 三(日)

内 容 目 次

- △大政翼賛會の發會
  - 一、大政翼賛會發足す (朝日)
  - 一、大政翼賛會の發足 (日日)
  - 一、大政翼賛會の發會 (讀賣)
  - 一、翼賛會發會・本日の大會 (都)
  - △日獨伊同盟成立の波紋
  - 一、三國同盟の効果 (報知)
- △果して聯合敵國か (讀賣)
- 一、英米共同攻勢に對して (中外)
- △電信七十年電話五十年 (朝日)
- △國民生活の確保 (日日)
- △軍需品の闇と其の防止 (朝日)
- △觀光局存續 (都)
- △平和的解決を望む (泰佛印紛争) (朝日)

X X X

△大政翼賛會の發會  
一、大政翼賛會發足す (十三日付朝日)

現代日本にとつて眞に歴史的な大政翼賛會は遂に發足した。抑も本會は一億國民が臣道の實踐を通じ眞に強き翼賛体制を實現すべき運動の集中點である。従つて其中心の機關は飽くまで完璧を期さればならぬ。現在の所各部役員の顔ぶれの如きも不滿なしとはいへないが、かゝる缺陷を漸次補強。是正し、是が完成に努力すべきである。近衛總裁の言の如く「大政翼賛運動の將來は眞に我國家の運命を決する」事を深く銘記すべきである。尙翼賛會は事務局が成立を見たゞけで今一つの重要な意義をもつ國民協力會議が未だ發程を見てゐない。廣汎な國民の基底に連なり其力を盛上げた國民協力會議が發程して始めて事務局の活動も力あるもの足り得るのである。吾人は次の問題として國民協力會議の發會を補首して待つ者である。尙翼賛會發足に當つて綱領宣言に代へるに本運動の精神は「大政翼賛の臣道實踐」の一語に盡きること以外に別領も宣言もなしとしたが、併し運動の實踐項目は自ら別で是に就ては極めて具体的なものも早急に作成に着手される事が必要であらう。刻下我國が當面する國際難局を突破し高度國防國家を建設するには、實に今回の大政翼賛運動を通じての臣道實踐以外には斷じてない。其處に全國民の自覺と覺悟を重ねて要望せざるを得ないのである。

一、大政翼賛會の發足(十三日付日日)

大政翼賛會が希望に充ちたる出發をしたこと、衷心より喜ぶと共に、この機會に數個の提言をなして本運動の目的遂行に遺憾なからしめたいと思ふ。→

先づ第一には何よりも實踐が肝要といふ我等の主張を再び強調したい。第二には一億一心の意義を徹底させることである。第三には翼賛會と政府の關係について明確な解決を與へることであり、第四には翼賛會と議會との關係であるが、至急選舉法改正案を立案し、議會との關係を一層明確にする必要がある。なほ一言附けて置きたいことは政變に際する心構へである。人事は測るべからず、將來何時起るかも知れない政變に際して萬一今回結成されたる翼賛會の人的構成に動搖波瀾を起し、翼賛會そのものの大專業に阻害を與へる如きことあれば、百年の計も全く形骸と化するであらう。以上をもつて翼賛會の輝かしき發足に際しての淺きとする。

一、大政翼賛會の發會(十三日付日日)

大政翼賛會の歴史的發會式に於る近衛總理の挨拶は簡潔な中にも雄大な理念と嚴刻の精神を盛り特に大政翼賛の臣道實踐を強調力説した所、端的に國民の胸を衝くものがある。それも今次の大政翼賛運動が胎動を始めてより三ヶ月、或者は進行の遅々たるに苦言を呈したるにせよ、これ程の專業が一役作りに築き上げることがも至極の榮、これだけの時日の間に兎に角基礎的工作を完了し發會式を舉ぐるに至つたのは考へやうでは功を竣へることの意外に速かつたとも言ひ得る。矢は既に弦を離れた、此上は眞に一億一心、闘闘打開に向つて不退轉の努力が叫ばれんことを念願期待して已まぬ。

一、眞實會發會（十三日付部）

昨日首相官邸に於て大政眞實會は發會式を舉行、近衛總裁は「本運動の將來は眞に我國家の運命を決するもの」なる事を強調し「吾等は前途に如何なる波瀾が起らうとも必ず乗り切つて進んで行かねばならぬ」と其決意と信念を披瀝した。今こそ全國民が一億一心となつて築き上げて行かねばならぬ新體制である。又近衛總裁が本運動の綱領は大政眞實の臣道實踐の一語に盡きるとし別に宣言綱領も發表せず、實踐第一主義を強調せるは吾等の最も贊成する處である。

尙本會の發會と三國同盟の締結を祝する國民大會が今日全國一齊に展開される。本運動も三國同盟も目指す處は世界新秩序を建設するにある。三國同盟以來英米の對日壓迫を冷靜に凝視して來た日本國民が、今日こそ全世界に向つて世界新秩序に對する日本の眞精神とその崇高なる使命に對する我國民の覺悟を知らしめべきである同時に御祭り騒ぎに囚せず威風にして熱烈なる國民大會たらんことを切望する。

△日獨は同盟成立の波紋

一、三國同盟の效果（十四日付報知）

三國同盟のもつ機能とか或は其効果といったことについて國際的にいろいろの解釋が其立場々々によつて行はれてゐるやうである。此條約成立公表の際既に條約の説明解説が當局によつてなされた筈である。↓

それにも拘らず三國條約に對する認識が我國內に於てもはつきりしてゐないやうな節のあることは争はれない。しかもそれは末梢的な效果とか或は條約の精神について歪曲された解釋を強ひてなさうとするところに主な原因が存してゐるやうである。我等は條約の字句を正直に受け入れ積極的な解釋を與ふべきであると思ふ。同盟條約の機能はかく極めて明白であるが強ひて其効果を擧げるならば米國を牽制することではなく、寧ろ新秩序の建設を否定して來る敵性國に對して日獨伊三國が協力を動員、協力しての戦を辭するものではないといふ積極的な效果を認めらるべきであらう。

一、果して聯合敵國か（十四日付讀賣）

ル米大統領が十二日デイトン市に於てなした全國中繼のラヂオ演説はル氏の對外政策演説中最も強硬な宣言であるとして國內一般に恐怖感を與へた。此演説は日獨伊三國に對する米政府の公式回答とも見なすべきもので、三國の期待は全く裏切られ寧ろ一種の敵性發揮さへ認められたところに多くの注意が向けられる。しかしながらル大統領の矯激なる演説は素より三國同盟に對するつらあての意味もあつたであらうが、一面大統領選舉戰に對する政略的意圖の存することも亦見逃すべからざる所であらう。まづここから對外關係の急迫を高調して、國民視聽を自己一身に注集せしめるため、強ひて激越なる言辭を弄した嫌ひなしともしないが、果してかゝる作戰が氏の三選に幸するであらうか。寧ろ國內國

外に逆作用を起すものとも思はれ、氏のために惜んで餘りある。

一、英米共同の攻勢に對して（十三日付中外）

三國同盟以來、米國は極東在留民の引揚勸告や駐支軍の引揚げを行ふが如き情報もある。果して極東在留の米人が生命財産の脅威を受けし事實ありや否や、米國のかゝる措置は一種の恫喝にあらざれば他に意圖ある事を語る以外の何物でもない。同時に英國が滇緬鐵道の再開を爲したのも英米の諒解乃至協定のある事は云ふ迄もあるまい。即ち英米兩國が協力提携して、先方では消極的といふが當方から見れば積極的攻勢に轉じて來たものさ見なければならぬ。従つて彼等の太平洋上に於ける共同動作も實現するものさ見るべく、我方としても待つべからざるを待たぬ。抗日戰線に對する彼等の積極的援助が果してどれだけの実績を收むべきやは知らず、英米兩國共同の攻勢に對して能く如何に對處すべきか。降りかゝる火の子は拂はなければならぬ。此際政府當局者に一段の努力を要望せざるを得ない。

△電信七十年電話五十年（十四日付朝日）

逓信省が今十四日をもつて我國電信創始七十年、電話五十年の發達を記念し併せて功勞者を顕彰することになつたが、世界を驚かす程の高度の發達を遂げた理由はその必要不可欠なるにもよるが永きに亘り困難を克服し、研究改良を加へて來た先覺者、

學者の絶えざる努力と應用實踐に貢ふ所絶大なるものあるは忘るべからざる所でない。ならぬ。又之と同時に全國幾十萬の従業員諸君又戰地で辛酸を舐めて實務を遂行しつゝある隠れたる貢獻に對し更めて衷心の感謝を捧げる。

△國民生活の確保（十四日付朝日）

新體制が國民に要望する處は職域奉公と公益優先とを以て大政を賛賞することである。わが國民が滅私奉公の至誠に徹するに至つたのは、わが歴朝が國民を赤子の如く愛せられ、國民をして大徳實たるの光榮に感激せしめたからに外ならぬ。明治天皇は「天下億兆一人も其處を得ざる時は皆朕が罪なれば」と仰せられた。新體制の國民生活に及ぼす影響について幾分危懼と不安を抱いてゐる向がないでもない。實に國民をしてその處を得せしむるは今日の急務である。これこそ新體制成就の基礎でなければならぬ。國立訓練所、勞働者年金制度といはず周到な調査と計畫をたて國民の隅々迄生を厚くする施設を十分に行き渡らせねばならぬ。

△軍需品の闇その防止（十四日付朝日）

我が國家體制が專横目的完遂のため再編成せられつゝある結果として、從來の經濟界を支配してゐた需給法則に牴觸する事象が比比として現はれるのは止むを得ない。就中軍需優先、民需後廻しの國家的必要に對して十分の認識を缺く場合往々法に觸れる者を出す。

とは戦時下の悲劇とも見られる。最近軍需品関係者の中から闇取引による處罰者を出すに至つたのは極度に堪へない。名古屋に於ける鐵工業関係者から悪質違反者二十七名を出し公務員まで加はつてゐたことは多くの事柄を考へさせるに足る。營利主義を中心とする經濟心理が法律のみで拭ひ去らるべきでないと思はれ、さしあたり法律で違犯を防止する以外に自由競争本位の教育制度を改むるなり従來の營利的商業道德に代るべき新たな連帯心理に基く協同主義的の道義心を養成することにより反社會的、反國家的の經濟行動の繩愆を期する方法など考慮されて然るべきではないか。闇取引の繩愆には横の連帯による經濟的隣組思想の發達を計らねば上からの統制が生きて来ないのでないか。

△觀光局存続(十三日付報)

スパイ防止の觀點から其在廢が問題となつた國際觀光局が國際宣傳戰の必須機關として存続するに決した事は當然である。國際觀光局が今日まで外客誘致に、また日本の眞姿紹介に盡した功績は甚大なものがあり、今後國際宣傳戰の渦中にあつて果すべき役割は頗る大なるものがある。英米の日本に對する不當なる壓迫も日本並に日本國民に對する認識不足に由来する所が大である。スパイ防止にはもより全國民の努力を必要とするも、スパイを恐れて門を閉すが如きは本末顛倒であり世界新秩序建設の指導者たる使命を自ら抛つ者である。

△平和的解決を望む(泰・佛印紛争)(十三日付朝日)

泰國と佛國との間には泰國の佛印に對する失地回復要求を繞つて紛争中だが、駐泰米國公使が右に開き、米の極東現狀維持聲明を持出し泰國の注意を喚起したのは見逃し難い。米國の泰佛紛争に對する干渉はすでに一週間前にあり、米國政府は泰國註文の戰鬪機その他の武器の引渡し拒絶を發表した。米大統領は七月上旬「たゞは佛印はアジアに屬する故、その處理に關してはアジアの諸國が協議すべきである」と述べたが、泰國は今更この言を回想する迄もないと思ふ。泰國も東亞國內に入るべきものたる以上、吾國としては、兩國が日佛交渉を前例として相互友好精神を以て國境劃定委員會その他の手段により商談を進め、以て紛争を解決せんことを希望する。

△其他(略)——「米穀食と日本精神」(十三日付報知)

「中小商業の對策」(十三日付國民)

142

外國宣傳情報第一號

内閣情報部一〇・一四

一重慶日本語放送(十一日)

(東京都市逓信局聴取)

一、辭演(妨害電波激烈を極め不明個所多し)我々は日獨伊軍事同盟締結に就てその意義とか  
 價値とか影響とかを論じて來たが今日は中國に對する影響とか、ソ聯との關係などを考へ  
 て見やう、さて、ソ聯であるが、之は歐亞に跨る大國であり軍事同盟は歐洲戰を極東迄波  
 及せんとするのであるから當然ソ聯に重大關係がある、それから、ソ聯は帝國主義戰爭の  
 中に於てソ聯独自の立場をとり自己の安定を計つて居るのであるから之亦相當の影響を受  
 ける譯である、ソ聯の地位を粗略出來ない所以である、ソ聯はその和平政策に基き中立を  
 維持して居るので日本はソ聯に秋波を送り日ソの妥協を計つて居るのである、獨逸は政治  
 的外交的に日ソの間を取り持つと云つて居り、ソ聯と伊・ソ日關係も好轉して居る様であ  
 るが、我々の考へでは絶對に不可能である、歐洲戰勃發前ソ聯は英佛と結合しナチスの野  
 心を挫かんとした、併し獨逸はソ聯と結びソ聯は帝國主義の矛盾を利用して自己の地位を  
 強化せん爲獨ソ條約が締結されたのである、然るにソ聯と米國は世界の平和維持を志し、  
 兩國間には敵對行爲もなければ悪感性もなく、兩國の利害は一致して居るのである、日本  
 は大陸政策を年來取り來たりシベリヤを覗つて居た、ソ聯に手を出しノモンハンで大失敗